



AQUA MARINA



TOMAHAWK

HIGH PRESSURE KAYAK/CANOE

User's Guide

WARNING

ご使用前にこちらの取扱説明書の内容をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

正しい取扱いをしなかった場合、けがや事故、

最悪の場合死に至る危険がありますのでご注意ください。



aquamarina.com

製品の使用について

安全に使用するために

パドルスポーツは体力が必要で、非常に危険が伴います。正しく使用されないと、ケガや死亡事故に繋がる場合があるので注意して下さい。

本製品をご使用の際は、必ず本書をお読みいただきご理解の上で使用ください。
また、お読みいただいた後もこの説明書は大切に保管してください。
下記の欄にカヤックの船体に印刷されている「船体識別番号」(HIN)を記録してください。

CN-ORP

安全のためのチェックリストと警告

- 本製品を貸し出す場合、使用するユーザーが安全に使用できるように所有者が責任を持ち指導を行ってください。
- 商品を手放すまでこの取扱説明書は必ず保管してください。
- インフレーターカヤックについて知識のない方(初心者)は専門店や上級者からの指導を受けてください。
- この取扱説明書と製品に記載してあるスペックを参考に正しく使用してください。定員オーバーでの使用は大きな危険が伴います。
- カヤックに乗り込む際にはフロアの中心に足を置き乗り込んでください。端に足を置いて乗り込むとバランスを保てず落水する危険性があります。
- ご使用の際には必ずライフジャケットなどの救命胴衣を着用してください。
- 必要があればヘルメット・ヘッドギアなどのプロテクターを装着してください。
- 強風・大雨・急流または、危険な潮汐の中では使用しないでください。
- 雨などによる洪水・川が氾濫しているときは使用しないでください。
- アルコールや薬を服用しているときは使用しないでください。
- 適正空気圧は必ず守ってください。
- 決して無理はせず、個人の体力・能力に合った使用方法を心がけてください。
- 救助の場合を除き、ボートや車でけん引しないでください。
- 地域の条例や船舶法など、法律を守って使用してください。
- 救命用の船としては使用できません。
- お子様が使用される場合は必ず保護者が監督し、目を離さないでください。
- 製品はできるだけ砂や岩場の上に置かないようにしてください。
- コンプレッサーや高圧の電動ポンプを使用すると空気圧が入りすぎることもあるので使用せず、アクアマリーナが推奨するポンプを使用してください。
- 流される危険があるため、水上に製品を置きその上で寝ないでください。
- 携帯電話などの連絡手段を防水バッグに入れ、必ず持ち歩いてください。
- 最大荷重を超えての使用は絶対にやめてください。
- 潮の流れ・天気・風の状態を事前に調べ安全を確認した上でご使用ください。

製造業者証明

アクアマリーナのSUP/カヤック製品は国際標準化機構によって定められたISO 6185規格に準拠しています。

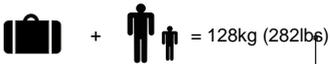
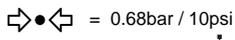
メーカーからの勧告

定員数と体重制限を必ず守ってください。

製品の仕様はカヤックの船体ラベルに記載があります。

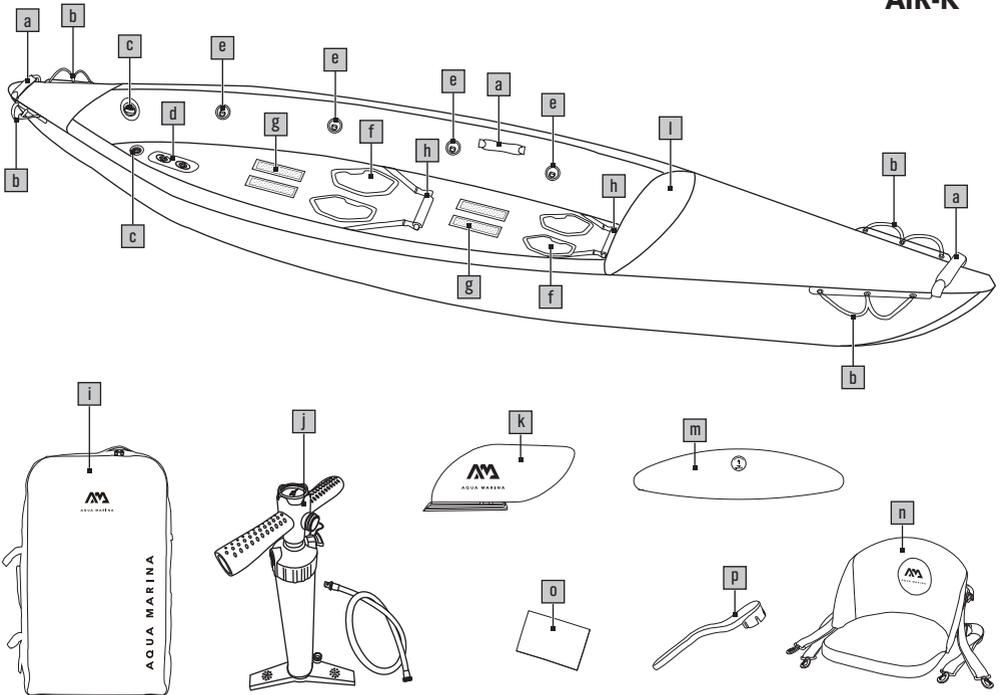
KAYAK/CANOE ラベルの記載事項

1. 国際標準化機構 (規格) : EN ISO 6185 PART 1 TYPE III
2. 製造国
3. 最大定員数
4. メーカー推奨 最大積載重量
5. メーカー推奨 空気圧
6. 船体識別番号 (HIN)
7. 製造メーカー情報

1		EN ISO 6185 PART1 TYPE III		STANDARD		EN ISO 6185-1:2018	
		AIR-K 375		BOAT TYPE		TYPE III (B)	
		Do not over inflate or use high pressure air compressor to inflate. Inflate the chambers in numbered sequence. Use the enclosed barometer to check while inflating. Ensure even distribution of persons or loads in the KAYAK.		DESIGN CATEGORY		D	
		WARNING: This is not a life saving device. Use only under competent supervision. Always use an approved life preserver. Do not use in high wind, rapid currents, open water or dangerous tides. Be familiar with area where you intended to use KAYAK. Never allow diving into this product. Never leave in or near the water when not in use. Follow these rules to avoid drowning, paralysis or other serious injury: - Not for use by children without adult supervision. - Do not overload. - Know and follow local water safety rules and regulations.		BOAT MODEL		AIR-K 375	
		MADE IN CHINA		2		3  = 1  = 0	
		DATE		7		6  = 128kg (282lbs)	
				6		5  = 0.68bar / 10psi	
				5		4 CN-ORP	
				5		ORIENTAL RECREATIONAL PRODUCTS (SHANGHAI) CO.,LTD NO. 1699 DRYE ROAD, WUQIAO, FENGXIAN, SHANGHAI, 201402, CHINA	
				4			

パーツ名称

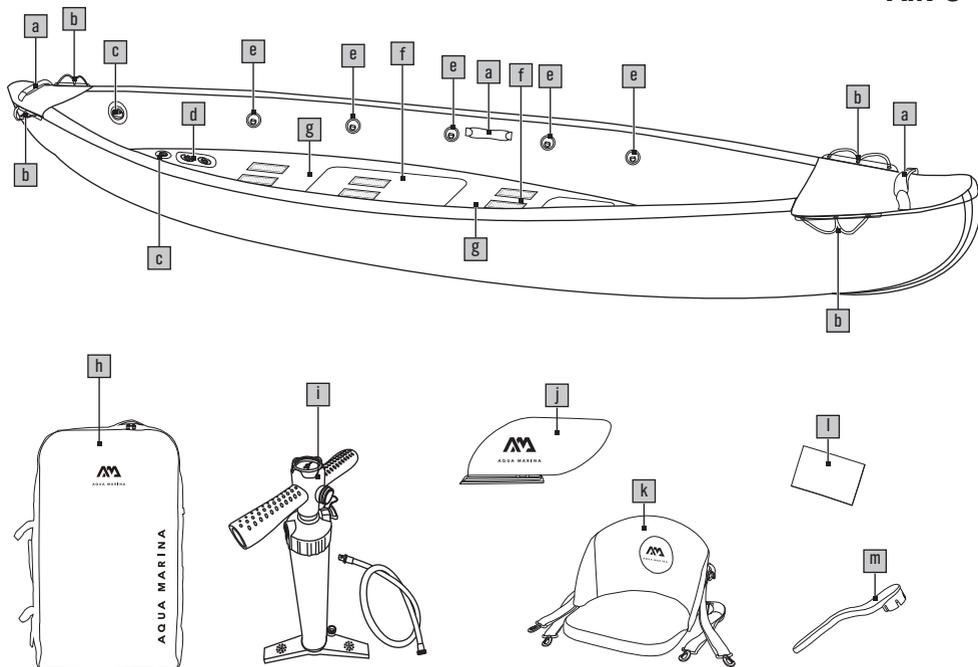
AIR-K



a	ラバーハンドル	i	ジップバックパック
b	セーフティーハンドル	j	ダブルアクションハンドポンプ
c	高気圧バルブ	k	カヤックフィン x 2
d	ドレインバルブ×2	l	スブラッシュガード
e	シート、フットレスト取り付け用Dリング	m	デッキシールド
f	EVA フットパッド	n	ハイバックシート (AIR-K 375 x 1, AIR-K 440 x 2)
g	シート固定用ベルクロ	o	リペアキット
h	フットレスト (AIR-K 375 x 1, AIR-K 440 x 2)	p	レンヂ

パーツ名称

AIR-C



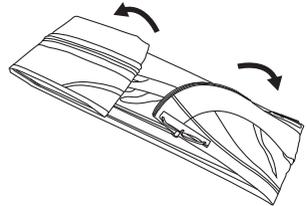
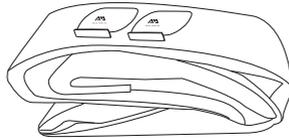
a	ラバーハンドル	i	ダブルアクションハンドポンプ
b	セーフティーハンドル	j	カヤックフィン x 2
c	高気圧バルブ	k	ハイバックシート x 2
d	ドレインバルブ x 2	l	リペアキット
e	シート取り付け用Dリング	m	レンチ
f	EVA フットパッド		
g	ハイバックシート固定用ベルクロ		
h	ジップバックパック		

仕様

モデル	長さ	幅	最大定員数	最大積載重量	本体重量	最大空気圧
AIR-K 375	375 cm (12'4")	72 cm (28")	1	128 kg (282 lbs)	16.6 kg (36.6 lbs)	0.68 bar (10 psi)
AIR-K 440	440 cm (14'5")	78 cm (31")	2	210 kg (462 lbs)	20.3 kg (44.8 lbs)	0.68 bar (10 psi)
AIR-C	478 cm (15'8")	88 cm (35")	3	260 kg (573 lbs)	24.7 kg (54.5 lbs)	0.68 bar (10 psi)

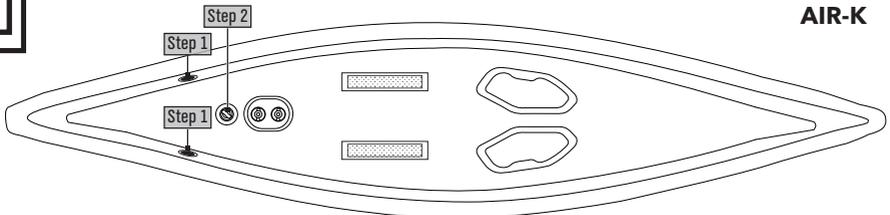
組み立てと収納方法

A

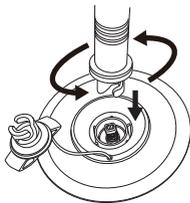


ゴミや突起物の無い場所にカヤックを広げ、付属のセンターフィンを取り付けしてください。

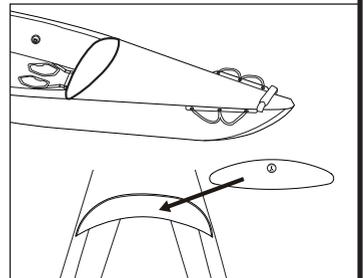
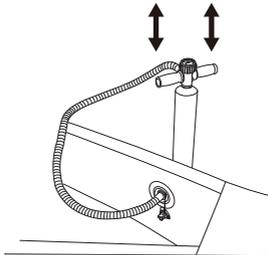
B



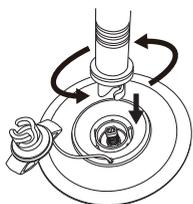
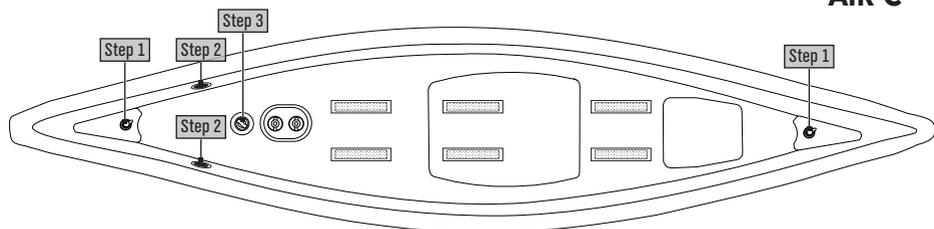
AIR-K



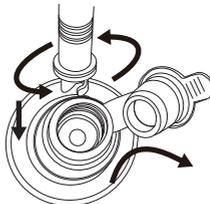
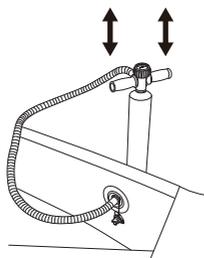
高気圧バルブ



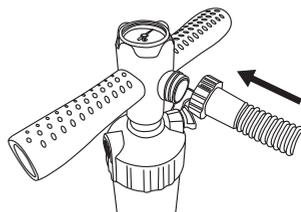
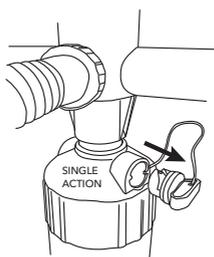
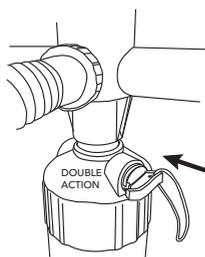
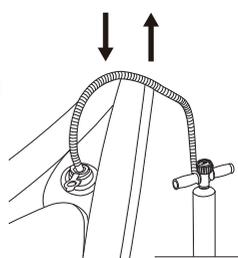
デッキシールドの取り付け



高気圧バルブ



キールエアバルブ



空気の入れ方

インフレーターブルキール (AIR-Cのみ)、サイドチャンバー、エアフロアの空気は上記の図を参考にSTEP1→2→3の順番通りに空気を入れてください。

1. 圧力計とポンプホースをポンプ本体に取り付け、しっかりと固定します。ポンプは、ダブルアクションモードとシングルアクションモードを切り替えることができます。

2. 高気圧バルブ

バルブキャップを外し、バルブが「ピンアウト」位置にあることを確認しボタンを押し込んで時計回りに回し、バルブが「ピンアウト」位置にあることを確認します。

キールバルブ (AIR-C)

バルブキャップを外し、バルブ本体を外側に引っ張り出します。

ハンドポンプを1回だけ上下させ、空気を充填します。

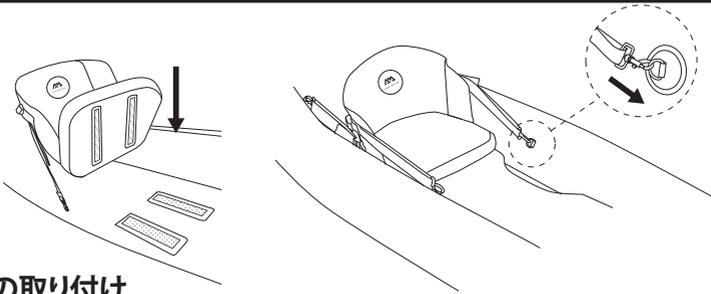
3. ドロップステッチの空気室は最大空気圧 (10 psi/ 0.68 bar)まで膨張させてください。

ヒント: ハンドポンプのシャフトが軋む場合は、シャフト部分にグリス等を塗ってください。



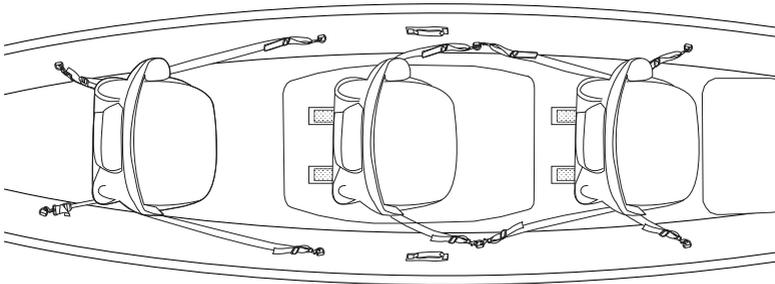
各空気室・製品の最大空気圧を超える空気は絶対に入れないでください。
製品が破裂、または故障する可能性があり、製品の保証は無効となります。

C



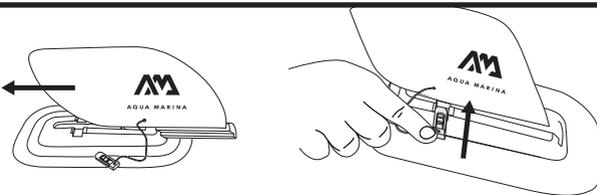
シートの取り付け

1. カヤック/カヌーのフロアに設置されたベルクロにシートを取り付けます。水上でボートのバランスを安定させるため、適切な場所にシートを取り付けましょう。単独で乗る場合、ボートの中心から少し後方にシートを設置しましょう。2人で乗る場合、体重が重い方が後方に座りましょう。
2. シートの位置が決まったら、シートに付属するストラップを使用して本体のDリングに接続します。上部ストラップは各シートの前方のDリングに取り付けてください。



注意: AIR-Cは2~3人のユーザー向けに設計されており、標準パッケージにはシート2つがセットになっています。シートは単品で別途購入できます。シートの位置は、ストラップを別のDリングに接続することで簡単に調整できます。必要に応じてストラップを同じDリングに接続してください。3人で使用する場合は、上記のシートレイアウトを参照してください。

D



カヤックフィンの取り付け

カヤック/カヌーを裏返し、カヤックフィンをベースにスライドさせます。付属のピンを横から、カチッと音がするまでスライドさせます。

空気の抜き方

1. バルブ周辺の水分、ゴミを取り除きます。

2. 高気圧バルブ

バルブキャップを外し、ピンをゆっくりと押し下げます。

はじめは空気が勢いよく出てきますが、しばらくすると緩やかな排出に変わります。数秒したら、ピンを完全に押し下げ、時計回りに回して「OPEN」位置にロックします。

キールバルブ(AIR-C)

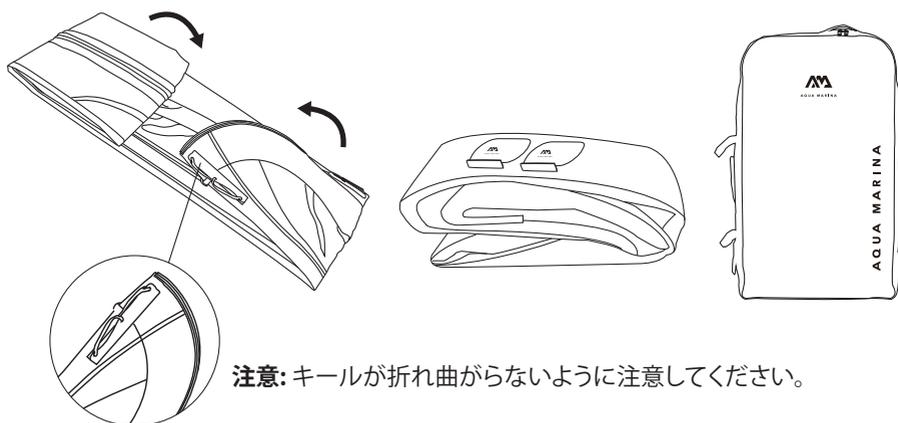
バルブキャップを外し、バルブ本体を外側に引っ張り出します。

修理キットに付属する透明なホースを使用するか、バルブの根元を指でつまむことで空気が排出されます。



折り畳み方

1. 船首から先に内側に折り込みます。下記の図のようにバルブに向かって折り込むことで残りの空気も一緒に排出させます。
2. 空気が全部排出されたら、1回分の折り畳みを戻し、左下の図の状態にし、バウ側を、船尾側の上に折り込みながら乗せます。その状態になればバッグに収めることができます。



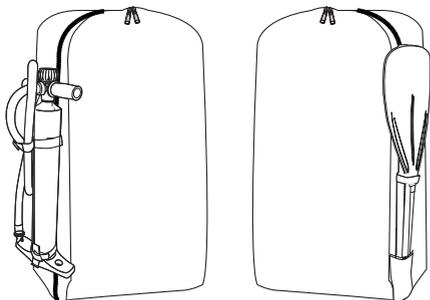
手入れと保管について

F

本製品はISO 6185規格に準拠した高い品質を持っていますので、正しく管理をすれば数年間は品質を保つことができます。正しく管理をしないと安全性を著しく低下させ同乗者を危険にさらすことになります。また、一切の保証が無効となります。

- 砂・海水・日光による損傷を防ぐため、使用のあとは必ず陸上で洗ってください。ほとんどの汚れは真水・柔らかいスポンジ・中性洗剤で取り除くことができます。保管する前に本製品が完全に乾いていることを確認してください。できるだけ洗剤は使用せず、廃水は海や川に流さないでください。
- 空気を入れたまま保管することも可能ですが、本製品の上に物を置かないでください。吊り下げでの保管はなるべく控えてください。
- 付属品を外した後、全てのバルブを開け空気を排出させてください。
- 本製品に付属する収納バッグは、取扱説明書通りに折りたたむことで簡単に収納できるサイズに設計されています。
- 湿気の無い、風通しのよい場所に保管をしてください。
- 害虫被害に合わないようバッグに入れるなどの対策を取ってください。
- 保管する際の室温は0～40℃の間で維持してください。

G

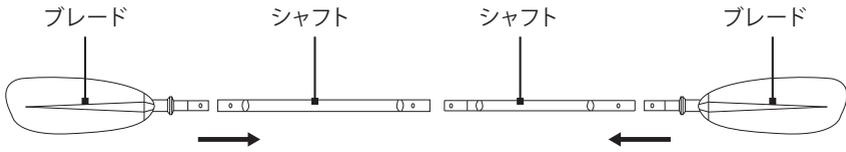


ジップバックパック

- カヤック/カヌーを持ち運び、保管するために最適なバッグです。
- サイドポケットにはポンプとパドルを収納することができます。

パドルの組み立て

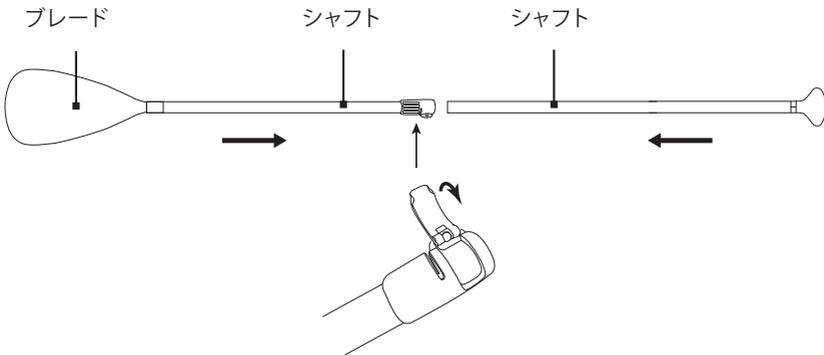
H



カヤックパドル (*AIR-K オプションとして別途購入する必要があります)

1. マイクロロックを解除して、ブレードをシャフトに挿入します。
奥まで差し込んだら、マイクロロックをシャフトの穴に固定します。
2. シャフト同士も同じように奥まで差し込み、マイクロロックで固定します。
3. 分解する際には上記の手順を逆に行います。

ヒント: 持ち運びに不便が無ければ毎回ブレードをシャフトから外す必要はありません。

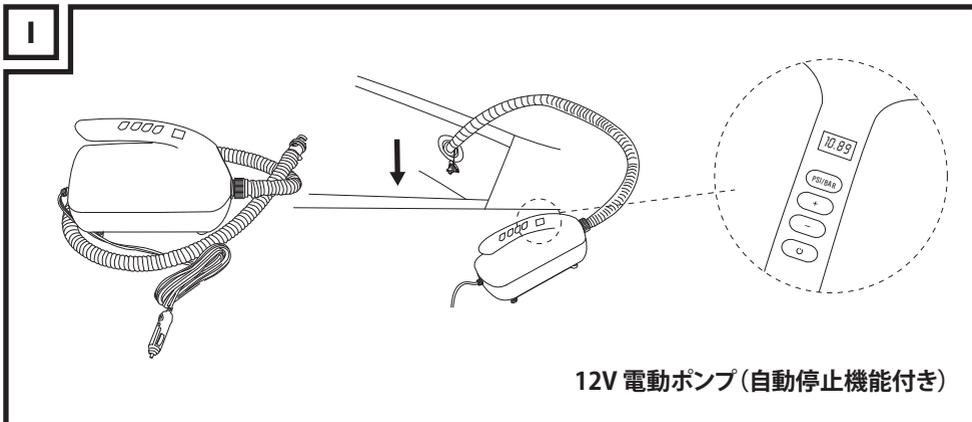


カヌーパドル (*AIR-C オプションとして別途購入する必要があります)

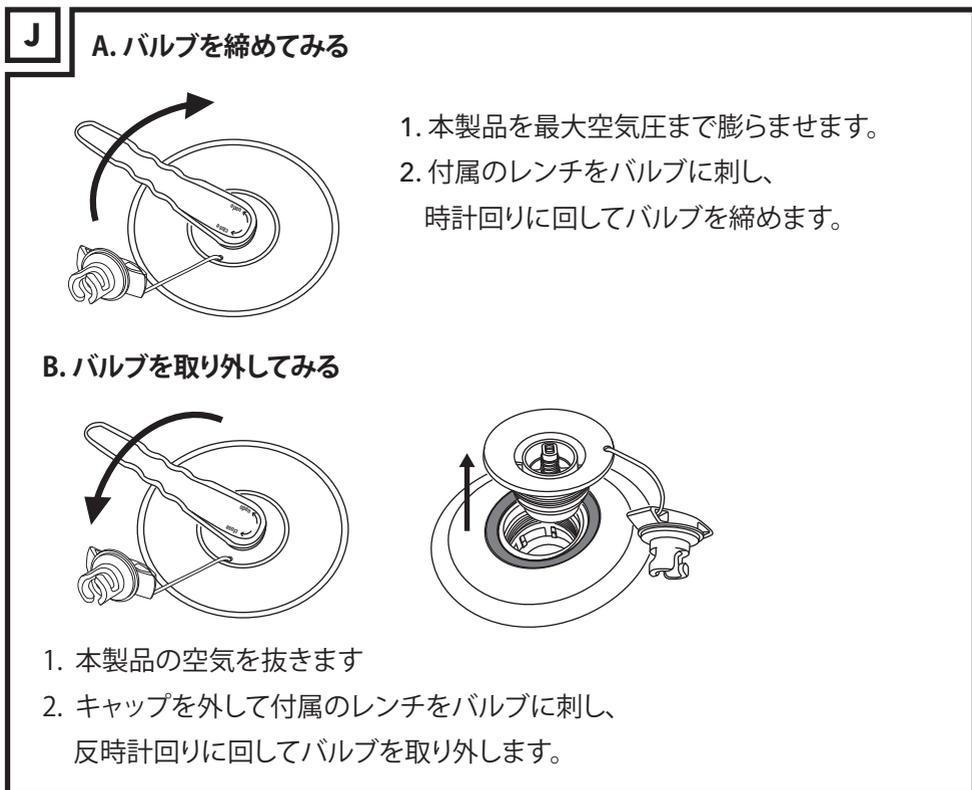
1. 2つのシャフトを結合し、クランプシステムを使用してシャフトの長さを調整します。
2. 長さを決めたら、クランプシステムのつまみを閉じ、固定させてください。
3. 分解する際には上記の手順を逆に行います。

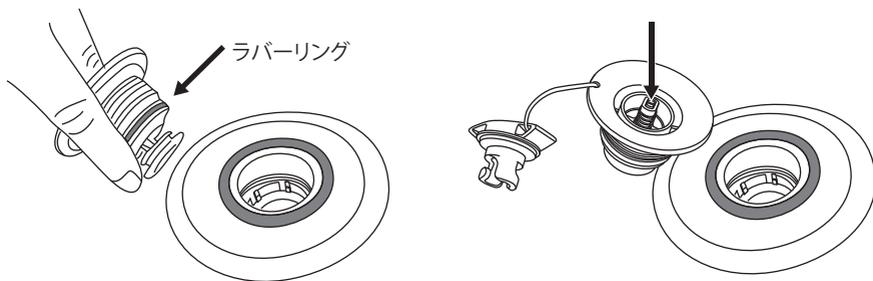
注意: 使用後は必ずシャフト内に残っている水を排出してください。

アクセサリ

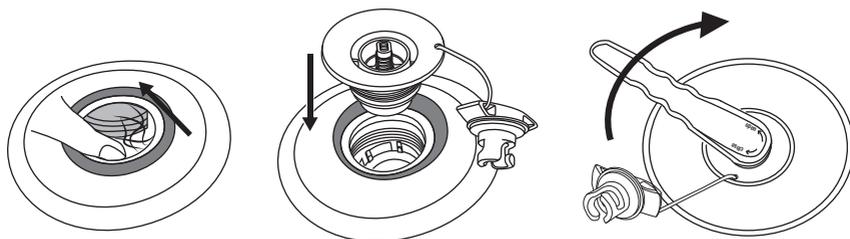


バルブ空気漏れの修理方法





3. ラバーリングがずれていないか、ゴミが挟まっているか確認します。
4. バルブ中央のスプリングピンが正常に機能しているか、エッジやバルブ自体にヒビ割れが無いか確認します。



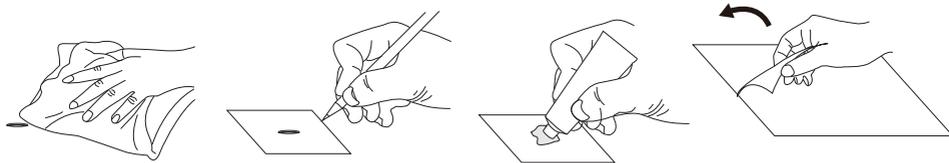
5. ドロップステッチの糸が挟まっていないことを確認します。
6. 生地の内側にある、下部バルブに何も挟まっていないことを確認します。
7. バルブを元に戻します。
8. ねじ山がずれないように合わせ、手でバルブを締めます。
9. 限界まで手で締めたら、レンチを使用してさらにきつく締めます。



レンチを回す手とは反対の手で、しっかりレンチを抑え
体重をかけてレンチが外れないように注意してください。

生地からの空気漏れと補修

K



バルブを締め直しても空気漏れが解決しない場合は本体からが空気漏れている可能性があります。

空気漏れの箇所はせっけん水をかけ、気泡が発生する事で発見できます。

1. 生地からの空気漏れが発覚した場合は、付属の補修生地と別売りの接着剤で修理が可能です。3mm以下の穴空きであれば補修生地無しで簡単に修理ができます。船体の空気を抜いてから修理箇所を綺麗にして乾かします。穴に少量の接着剤を塗布し、12時間乾燥させます。
2. 3mm以上のキズには補修生地を使用します。補修生地をキズよりも一回り大きく(1.5cm以上)カットし、角が無いよう端を丸く切り取ります。
3. カットした補修生地と、船体のキズの周りに接着剤を薄く、覆うように塗布します。
4. そのまま2~4分間、接着剤を乾かしたら、生地の手前から端に圧力をかけて接着していきます。生地の手前は剥がれやすいため、強くこすって力をかけておきます。12時間放置し、膨らませた時に空気漏れがないことを確認してください。

製品保証

1
YEAR

本製品は購入日から1年間、製品の不良や欠陥を保証します。
この保証には次の制限が適用されます。

1. 製品保証は個人的かつ非営利目的に使用する場合のみ保証の対象となります。レンタルや学校行事、営利目的での使用は対象外となりますのでご注意ください。
2. 製品保証の決定には、欠陥を明確にするための検査や画像の提供をする必要があります。状況によっては送料をお客様のご負担で販売店へ商品を送らなければいけない場合もあります。また、返品や交換は販売店の許可を得てから発送しなければいけません。発送の際には返品許可番号を表記する等の手順が必要になる為、販売店の指示に従ってください。
3. 商品不良が認められた場合、不良品の交換または修理のみが保証の対象となります。また、本製品の誤った使用方法や紛失によって生じた費用、損失、損害については一切責任を負いません。
4. この製品保証は、誤用、乱用、放置、使用における摩耗、裂傷による破損は適用されません。またこれに限らず、過熱による破損、不適切な取扱いや保管による破損、岸辺での使用による破損、波乗りでのボードの破損など、素材および製造上の欠陥以外の破損はすべて適応外となります。
5. この製品にはアクアマリーナのブルードライブパワーフィン以外のモーターを使用しないでください。
6. 推奨する最大積載量を超えて使用した場合は保証の対象外となります。
7. 製品保証は許可なく修理、交換、改造を行った場合は無効となります。
8. 修理、交換された製品も初めの購入日から1年の補償となります。
9. 保証を受ける際には領収書や納品書等の購入したことを証明できる書類を提出する必要があります。購入した販売店の名前、日付が明確にわかるものを保管しておいてください。
10. ここに記載されている以上の保証はありません。



注意

この製品は、特定の用途に使用される目的で設計されています。
製造業者によって示された以上の改造や変更はユーザーの重大な
危険につながり、製品保証は無効となります。